

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年1月9日 VOL. 50

## 「タイプから考える認知症ケアマネジメント」研修開催

平成29年12月19日(火) 介護支援研究会(通称：ケア研)主催の研修会が市役所大会議室で開催されました。

奥山先生は現役の主任介護支援専門員(主任ケアマネ)であり、認知症になると「不安」になることを理解し、支援のポイントを「生活全般を理解すること」と示唆しました。

「ケアマネの皆さんが勤務終了後に休養を返上して研修に参加しているのは、理解・判断・運動機能・意欲・制御抑制等を掌る「前頭葉」が働いているから」と、脳の役割と構造からの具体的なイメージがわく内容で、認知症になってもできることを見つけてそこを落とさないように、多職種が連携して支援していくこととまとめました。

この研修が、超高齢化社会を支えるケアマネの実務に反映し「認知症になっても幸福が感じられる社会づくり」に活かすことを誓いました。



講師：奥山 恵理子 氏  
株式会社 浜松人間科学研究所  
代表取締役  
・リハビリテーション科学博士  
・精神保健福祉士  
・主任介護支援専門員  
・臨床検査技師  
・認知症介護指導者  
・上級認知症ケア専門士

藤枝市介護支援研究会  
会長：杉山 弘卓 氏  
介護保険施行前年の平成11年8月設立。会員88人でスタートし、現在179人の会員で構成。毎月運営委員会を開き、関係機関との連携や意見交換会の実施及び研修会の企画を行っている。



100人超えの出席者

## 藤の花かんかんネット（事務局：藤枝市立総合病院）の報告

横山事務長



平成29年5月に静岡県看護協会モデル事業としてスタートした看護職連携事業（代表：藤枝市立総合病院平野看護部長）は「市内の看護職連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの推進に資する」を目的に運営されています。このほど今年度第3回目を平成29年12月22日（金）藤枝駿府病院を会場に開催し、藤枝駿府病院横山彰雄事務長より「病院の沿革・現状」、鹿又喜恵子看護部長より「精神科病棟の現状と看護の役割」について講義を受けた後に、院内見学を行いました。

今回は「精神科医療・看護を知ろう」と看護職に限定せず受け入れをしたところ、ケアマネや社会福祉士などを含め46人が参加しました。

精神科病院は4カ月以内の退院が多く地域移行が進んでいる状況や、そこに至る困難さなどを伺いながら「早期治療・早期退院」による社会とのつながりの大切さを実感しました。さらに最新の薬物治療の情報や妄想への対応の原則などを学び、病院のスタッフの顔が見えたことで今後の支援に繋げていく安心感を持つことができました。

鹿又看護部長



健康福祉部 地域包括ケア推進課

TEL 054-643-3225 E-mail chiikicare@city.fujieda.lg.jp